

## 安全の推進と海外進出の道開こう

玉川大学  
教授 鍋島 淑郎



ただいまご紹介いただきました私は元玉川大学の鍋島と申します。工業会とはもう何十年とお付き合いさせていただいておりますが、今日は借越ながら乾杯ということをお受けつかりましたのでよろしくお願ひいたします。今日は第47回の総会をめでたく終えられたそうでおめでとうございました。

いろいろ廃棄物の問題を考えますとあるんでございますが、先程小林日環センターの理事長さんからすべてキーワード的にお話いただきましたので特に私が採り上げることはございませんが、特に安全問題については最近いろんなプラントの建設のときに、安全と安心、そういうのは地域住民のニーズから必要でございます。

安全については、かつて私は大学で安全工学の講義をやっておりましたが、昔から北川先生の本によりますと、安全は三つの“E”が大事だということていろいろ講習会で言うのですが、最初の“E”はエンジニアリングのEです。技術とか設備のEです。

それから二番目がエデュケーション、教育の“E”。三つ目がエンフォースメントといいまして管理の“E”です。この三つがちゃんとできていないと安全は保てないということがいろいろの本<sup>①</sup>に出ております。それだけではないと思います。いろいろ昨年から RDF の事故とか、温度が低くてもコンポストで火事が起きたり、爆発が起きるとか、思わぬところで事故が起きますので、その

辺を特にご留意いただいてこれからの施設の建設とか運営に携わっていただければと思っております。

話しは変わりますが、これからは国際化の時代で中国が非常に発展しております、今後は海外へ出ることもあると思うのですが、いろいろ日本からも技術輸出とかあるんですが、これからは海外といろいろ技術協力を進めなければいけないと思います。私も数年前より中国へ行ったりして海外協力とかに参加させていただいておりますが、そういう問題もありますので、これからもひとつ工業会を中心にしてみんなで海外への道を開いていただければと思っております。

いろいろお料理も出ておりますので、あまり長い話にならないように、前に平山先生がよくお話をされていたのを思い出しますが、先生は随分お話がお好きだったので、それにはならないように私は簡単にさせていただきたいと思ひます。

本日はご来席の皆様方、それから日本環境衛生施設工業会のますますのご健勝とご発展を祈念して乾杯したいと思います。どうぞご唱和ください、乾杯！どうもありがとうございました。

### 注) 参考文献

- 1) 北川徹三、基本安全工学、海文堂出版、(昭和57年4月)、p22~23
- 2) 秋山英司、安全管理の知識、日経文庫(197)、日本経済新聞社、(昭和61年7月)